受付№

**2025年度 日本顎口腔機能学会 学会賞**

**申請書**

申請日　2025年　　月　　日

1. 申請者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ |  | | |
| 氏　名 |  | | |
| 生年月日（西暦） |  | 会員番号 |  |
| 所属・職名 |  | | |
| 電話番号 |  | | |
| E-mail |  | | |

1. 本学会活動への貢献（800字程度）

(青字の説明は提出時に削除すること)

* 日本顎口腔機能学会が主催する学術大会・セミナーでの活躍等のこれまでの学会への貢献や、今後のリーダーシップの発揮方法についてアピールできる点を自由に記載すること

1. 研究業績

* 論文、学会発表等について、現在から過去に遡り、項目毎に通し番号を付して記載すること。
* 論文は、著者名、論文題目、掲載誌名、巻・号・頁、発行年が分かるように記載し、申請者に下線を、責任著者に「＊」を付すこと。（例　Hattori Y\*, Satoh C, Kunieda T, Endoh R, Hisamatsu H, Watanabe M. Bite forces and their resultants during forceful intercuspal clenching in humans. J Biomech. 2009;42(10):1533-1538. doi:10.1016/j.jbiomech.2009.03.040）
* 学会発表は、申請者が筆頭発表者もしくは、筆頭発表者を直接指導する立場であった発表に限る。
* 学会発表は、発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月日、発表形式が分かるように記載し、申請者に下線を付すこと。（例　〇〇 太郎、△△ 花子、□□ 次郎. 「新しい顎口腔機能モデルの応用に関する研究」. 第〇〇回日本顎口腔機能学会. 東京, 日本. 20XX年X月X日.（口頭発表））

1. 研究の社会的・学術的意義（800字程度）
   * 申請者の研究テーマについて、顎口腔機能研究分野への影響力や貢献度、他の研究分野への波及効果について800字程度で記載すること。
2. 顎口腔機能研究の深化・発展に対する今後の展望（800字程度）
   * 顎口腔機能研究の深化や、顎口腔機能研究を通した教育・社会貢献等への発展について、今後の展望を800字程度で記載すること。